

ユネスコスクール加盟校訪問について（報告）

1 訪問日時 平成 27 年 11 月 20 日（金）

2 訪問依頼内容

- (1) 研究の経緯および進捗状況
- (2) 活動推進上の課題の収集および課題に向けての方向性の示唆
- (3) 今後の展望
- (4) その他

3 訪問者 中部大学国際 ESD センター客員教授 伊串 博
岐阜県養老町立広幡小学校長 豊島 博

4 訪問の経緯

- (1) 伊串教授
 - ・元一宮市立神山小学校長、元愛知県教育委員会義務教育課指導主事
 - ・県内のユネスコスクールの活動状況を参観し、活動状況および掲示物の写真撮影、資料収集、成果や課題の収集を目的に訪問。
- (2) 豊島校長
 - ・広幡小学校は、明治 6 年の創立。全校児童 106 名。ユネスコスクールに登録
 - ・岐阜県のユネスコスクール登録校は、小学校で 2 校。
 - ・従来から「ふるさと学習」には取り組んできたが、ESD として校内の教育活動が体系化されておらず、現在その作業をすすめている。
 - ・ユネスコスクール先進校の状況を視察し、上記の活動の参考としたい。そのために ACCU（ユネスコ・アジア文化センター）等に問い合わせをしたところ、甚目寺小学校を紹介された。
 - ・11 月 16 日(月)に本校に資料収集の機会について問い合わせがあり、11 月 20 日の総合学習発表会と伊串教授の訪問を紹介したところ、訪問の依頼を受けた。

5 訪問内容

- (1) 甚目寺小学校の ESD の取り組みを報告
 - ・理念、研究構想、人権教育を柱にしたつながり（児童と児童、児童と地域、児童と自然）、研究推進の経過、取り組みのポイント（人の思い）、本年度の研究概要（4 年の実践と高め合い）
- (2) 総合学習発表会（3～6 年、各教室で実施）を参観
- (3) 意見・感想
 - ・「人の思い」をキーワードにした取り組みは、発表内容に取材先の「思い」が込められているので、説得力を感じる。
 - ・いろいろな「つながり」（何が・何と・どのように）を意識することにより、社会への見方が広がっていく。さらに意識できるような取り組みを期待したい。
 - ・継続することによって、調べ、考え、自分たちがすべきことや何から始めるのかというところまで思考が及ぶようになるだろうし、そのことにより実践力がついてくる。
- (4) 広幡小豊島校長より
 - ・甚目寺小学校との交流をしたい。取り組みを発信し、交換し合うことにより子どもたちの視野のひろがりに結びつけたい。
 - ・交流内容としては、児童会のメールによる近況報告から始めていきたい。やがては実践内容の交換や人的な交流も模索したい。
 - ・できることを少しずつ進めたい。

6 その他

- ・中部大学国際 ESD センター TEL 0568-51-4485
- ・養老町立広幡小学校 TEL 0584-32-1620